

〈解答〉

- ① 1 エ
2 オ
3 〔例〕 習慣のかたまりである「からだ」を通して世界と関わっている（28字）
4 ウ

配点 ① 1、2は各2点、他は各3点 10点満点

〈解説〉

- ①
- 1 空欄①の直後に、「ボールが飛んできたとします」と、実際にありそうな例を具体的に示す内容があり、この具体例を通して、「身体が空間や時間に住み込む感覚」とはどのようなものかについて説明している。よって、例示の接続語である、エ「たとえば」が入るとわかる。
- 2 傍線部②「身体が空間や時間に住み込む感覚」の例として、二十年以上たっていても、テニスのフォームが変わっていなかったという内容が、文章中に述べられていることに注目する。選択肢ア、エは、ある事柄や動作などを繰り返し身体に覚え込ませ、身についた習慣となっていることの具体例となっている。しかし、オは、「授業で習ったばかり」とあるので、繰り返し行っただけの身についていた習慣とはいえない内容となっている。
- 3 傍線部③に、「身体としてこの世界に存在している」とあるが、筆者が、「身体」と「世界」との関係をどのようにとらえているかについて述べた部分を探してみる。すると、傍線部③の直後の段落に、「習慣のかたまりこそが『からだ』であり、その『からだ』を通して世界と関わっているのです。そしてその獲得した身体パターンを組み換えたり、更新したりして、私たちは世界を広げていきます」という一文があるので、この部分がヒントになるとわかる。ただし、傍線部③にあるように、「理性や意識」とは完全に切り離された「からだ（≡身体）」と、「世界」との関わりについての説明なので、その前半の一文、「習慣のかたまりこそが『からだ』であり、その『からだ』を通して世界と関わっている」の部分だけを使ってまとめればよいということを確認する。後半の一文に、「獲得した身体パターンを組み換えたり、更新したり」とあるが、これは、「理性や意識」から完全に切り離された「からだ（≡身体）」とはいえない（理性や意識が関与していると推察される）

ため、後半の一文の内容を解答に入れないようにする。

- 4 本文の最後から二つ目の段落に、「反復練習して、身体を習慣化することはとても大事
……部活はそういうことを練習する行為ですから、ちゃんとやったほうがいい」とあり、
選択肢ウは、この段落の内容を言い換えたものとなっている。ア「身体を重んじる日本の
伝統」「意識や精神を重んじる西洋の伝統を排除する」、イ「『からだ』の健康を保つには、つ
ねに『こころ』を満たしておく」、エ「メルロ＝ポンティの考え方を、文化の異なる日本
人が理解することは困難」、オ「立派な大人になるには」礼儀や品格といった精神性を鍛
えることが必要不可欠」の部分が、それぞれ誤りである。